

本のむし

掲示版

2022年5月9日発行

編集 図書委員会 広報班

こんにちは、図書委員会・広報班です！

新学期が始まって1か月たちましたが、最近どうですか？

わくわくすることはいっぱいあるけど、とにかく忙しかったり、

新しい人間関係に疲れた…という人も多いんじゃないでしょうか？

そんな時は図書室でひとりゆっくり過ごすのもオススメですよ～



★昨年度(2021年度)の本の貸出数★

M1 (現 M2) 2 2 4 1冊

M2 (現 M3) 6 0 2冊

M3 (現 H1) 8 0 6冊

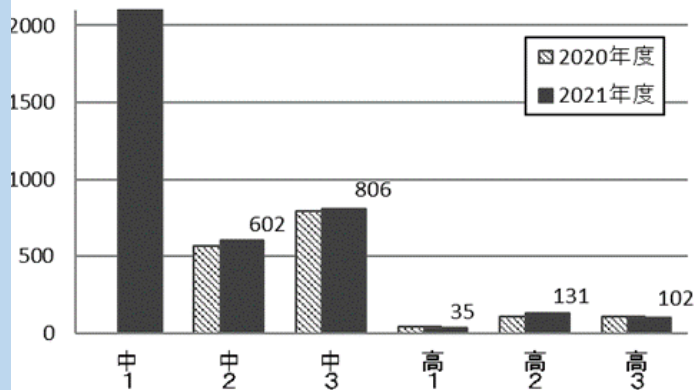
H1 (現 H2) 3 5冊

H2 (現 H3) 1 3 1冊

H3 (卒業生) 1 0 2冊

電子書籍 3 1 4冊 特別貸出(ポイントカード等) 1 8 8冊

学年別貸出冊数



<計 4 4 1 9 冊> この10年で最多を記録！

めざせ5000冊突破！！無料だからどんどん借りよう！

委員のおすすめDVD

『ジュラシックパーク』

監督: スピルバーグ

恐竜たちが現代に復活！？
とってもスリリングなので、
ドキドキする怖いものや
恐竜が好きな人はぜひ
見てみてください。



委員のおすすめDVD

『風立ちぬ』

監督: 宮崎駿

零戦(零式艦上戦闘機)の
設計者として知られる
堀越二郎の半生を、
堀辰雄の小説「風立ちぬ」
のエピソードを盛り込みながら
描いている。泣く。

先生の オススメ本

『数学ガール フェルマーの最終定理』 結城浩

物語になっている数学の本がある、と聞いて手に取りました。フェルマーの最終定理への足掛かりが高等数学でも理解できる本です。三平方の定理が成り立つ整数の組み(3, 4, 5), (5, 12, 13), (7, 24, 25)…などを原始ピタゴラス数といいます。この組み合わせを見つけるのはすごく大変なのですが、これが無限に存在することをとても綺麗に説明しています。この問題に取り組む、高校生のお話です。数学が好きな人は、是非読んでみてください。【410/ユ】



『嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラー」の教え』 岸見一郎

アドラー心理学は承認欲求を否定します。自分の自由を獲得するために、他者の承認をもとめることはしません。この感覚はとても大切なものと感じました。自分自身で、自分を認めることこそが自由であるために必要なことだと教えてくれます。他にも、共同体感覚、目的論、など様々な興味深い考え方を学ぶことができます。自分の考え方の幅をひろげたい人は必見の一冊です。【146/キ】

数学科
里吉先生

イラスト K画伯

先生の オススメ本

『漂流』 吉村昭 【913/ヨ】(文庫)

240年前に起きた事実をもとに描かれています。無人島に漂着した船員がたった一人、雨水と渡り鳥のみを食料として生き延びて脱出を決行する話です。絶望的な状況でどのように生存法を見出し、文明の利器なしに脱出手段を作り上げたのか…。そうした過程が克明に記されていることも大きな魅力ですが、執念でごくわずかな可能性を現実にしていく人間の強さにも、また心を打たれます。

この著者には、飢えたヒグマが村民たちを食い殺すという凄惨な事件を描いた『罨嵐』や、無期刑囚が脱獄を繰り返す『破獄』など、近代史に実在する事件をもとに人間達の闘う姿を描いた作品が多くあります。普段の生活では感じられない「生きる」ことへの渴望感を感じたい人におすすめです。

『かがみの孤城』 辻村深月 【913/ツ】

学校に居場所がない中学1年生「こころ」が、それぞれやりきれない思いを学校に抱く中学生6人と、かがみの向こう側の世界で出会う物語です。一見ファンタジーと思えるこの世界が、実はあまりに切ない理由で作られたものであることが明かされたとき、すべての出来事が一つにつながっていたことに驚き、悲壮なまでの想いに胸がしめつけられます。学校へ行くことに苦しさを感ずる人に勇気をくれる一冊です。



数学科
中泉先生



中学2年
Mさん、Nさん
先輩になったけど
ココロは小学8年生♪

突撃! となりの 読書家さん!! リターンズ Returns

「若者の読書離れ」が進む令和ニッポン...
しかし湘南学園にはまだ、毎日のように
図書室に出没する謎のイキモノ達が
いる!! そんな希少な生物の生態に迫る
インタビューシリーズが復活しました。

～10分休みも図書室で!～

- N 「ずっと図書室にいたい!
授業もここで受けたいくらい(笑)」
- M 「教室は嫌いじゃないけど、ざわざわしすぎ
ていて落ち着けない。図書室はほどよい感じ」
- N 「図書室でもわいわいしたりするけど、さすが
に奇声をあげてる人は少ないし(笑) 波長が
あう人が多いから、リラックスできる」
- M 「あと、本がある空間が好き! とにかくいろんな
種類のものがあるじゃん? 宝探しっていうか、
綺麗な石を集めているみたいでワクワクする」
- N 「Mちゃんがまじめに話してる…」

～もともと本を読むほう?～

- M 「昔はそんなじゃない。中学生になって
図書室に来るようになってから、結構
小説とか読んでるかなあ。
小学生の時の塾の先生とか驚くかも」
- N 「私も! お気に入りの本はあったし、
学習まんがとかは読んだけど、
小説も手に取るようになったよ」

～他学年の生徒と交流できる!～

- M 「先輩も言っていたけど、『部活でも
行事でもなく、ゆるっと他の学年と
交流できるのが良い』って」
- N 「わかる! 面白い先輩とかいるし(笑)
図書室の仕事も教えてもらえる」
- M 「意外に興味のあう人と出会えたり、
クラスにはない人脈が広がる感じ」

～お手伝いの作業が好き!～

- N 「本に透明のシートを貼る、ブッカー
かけの仕事がめっちゃ好き!」
- M 「先輩に教わってから、いつも狂った
ように作業してるよね」
- N 「他にもいろいろなことができるよ。
スタンプ押しはもう私、天才。」
- M 「先輩は『この作業があるから図書室
に来てる』って。」
- N 「黙々と手を動かして、やったぶん成果
が積みあがっていくのがやりがい」
- M 「逆に『お手伝いのため』って理由がある
から、図書室にきやすいのもあるかな」